

圧力容器に関する国内規格と ASME 規格の動向と解説

平成 30 年 1 月 16 日 (火) 開催

日本高圧力技術協会では、圧力容器規格について最新の動向と内容を解説する技術セミナーを企画しました。本セミナーでは、代表的な圧力容器規格として、国内の JIS 規格を ASME Boiler & Pressure Code Section VIII, Division 1 および Division 2 と比較して、その改正動向も含めて技術的内容について説明いたします。特に、Section VIII, Division 2 では 2017 年版において Class 1 (安全係数 3) と Class 2 (安全係数 2.4) とのクラス分けが行われましたが、その内容についても詳しく解説し、JIS 規格への反映について議論します。また、Section II の材料規格の許容引張応力 (安全係数 3 と 2.4) についても解説し、国内規格の対応を示します。

第一線の専門家による解説を通じ、最新の圧力容器規格を体系的に習得する格好の場ですので、圧力容器の設計、施工、維持管理に携わる関係の皆様におかれましてはこの機会をぜひご利用くださいますよう、ご案内申し上げます。

■■プログラム■■

9:30 ~ 10:30	① JIS 規格と ASME 規格の対応 小林 英男 (東京工業大学 名誉教授) 国内では、圧力容器関連 4 法の技術基準を整合する JIS B 8265 (2017 年版発行予定) と JIS B 8267 がある。これらの JIS を始めとする国内規格 (JIS、KHKS、HPIS) と最新の ASME 規格との対応を解説し、今後の国内規格策定の方針を示す。
10:40 ~ 12:10	② ASME 規格 Sec. VIII Div. 1 の解説 能登 高志 (Office NOTO) ASME Boiler & Pressure Vessel Code Section VIII Division 1 は圧力容器の設計・製作規格として世界的に最も適用されることの多い規格であり、日本の国内規格の多くもこれを基本としています。今回は設計公式に限定することなく全体を視野に入れて、この規格のどこにどんなことが書いてあるか、国内規格とどんな違いがあるかを中心に、解説します。
13:00 ~ 14:00	③ ASME 規格 Sec. VIII の動向及び Sec. VIII Div. 2 Class 1 の解説 寺田 進 (神戸製鋼所) ASME Sec. VIII は当初 Div.1 と Div.2 を統合する方針で検討していましたが、2016 年 2 月にヨーロッパ規格に対する競争力を保つために方針転換し、Div.1 はそのまま残し、Div.2 は 2017 年版で安全係数 3.0 の Class 1 と安全係数 2.4 の Class 2 とする改正を行いました。ASME Sec. VIII の最近の動向及び Class 1 の規定の内容について解説します。
14:10 ~ 15:40	④ ASME 規格 Sec. VIII Div. 2 Class 2 の解説 寺田 進 (神戸製鋼所) ASME Sec. VIII Class 2 は安全係数 2.4 の 2015 年版の Div.2 と同等です。新しい Div.2 は 2007 年に発行され、初版発行から 7 回の改正版が発行され完成度が高まってきました。Div.2 は全体が 9 つの Part で構成され、Div.1 に比べると判り易い構成になっています。各 Part の規定の概要を最近の改正内容も含めて解説します。
15:50 ~ 16:50	⑤ ASME 規格 Sec. II Part D の解説 石毛 健吾 (IHI) ASME Sec. VIII は 2017 年版で、Div.2 を材料の引張強さに対する安全係数 3 の Class 1 と 2.4 の Class 2 とする改正を行いました。Sec. VIII で使用される材料の許容引張応力 (安全係数 3.5、3 及び 2.4) が規定されている Sec. II Part D の内容と、JIS 規格との対応について解説します。

■開催要領■

開 催 日： 平成 30 年 1 月 16 日 (火)
会 場： 自動車会館 2 階 大会議室 (市ヶ谷/東京)
地図→<http://www.jidosya-kaikan.com/map.html>
定 員： 80 名
主 催： 一般社団法人 日本高圧力技術協会
協 賛 団 体※： 高圧ガス保安協会、(一社)日本非破壊検査協会、(一社)日本機械学会、(公社)石油学会、
(公社)化学工学会、石油連盟、(一社)日本鉄鋼協会、日本高圧力学会、(一社)日本溶接協
会、特定非営利活動法人安全工学会、石油化学工業協会、(一社)日本原子力学会、
(一財)日本規格協会、危険物保安技術協会、(公社)腐食防食学会、(公社)日本材料学会、
(一社)溶接学会、(一社)日本ガス協会、(公財)溶接接合工学振興会、日本 LP ガス協会
(一財)発電設備技術検査協会、(一財)エンジニアリング協会、(一社) 水素供給利用技術
協会、(一財)石油エネルギー技術センター、(一社)火力原子力発電技術協会、
燃料電池実用化推進協議会 (順不同 依頼中も含む)

■参加費 (テキスト代、昼食代含、全て消費税込)■

会 員：30,860円 ※1 社で3名以上同時にお申込の場合、お一人様 25,710円

『会 員』対象は以下の通りです。

①ご所属先が当協会の団体会員企業の方

※当協会ホームページ <http://www.hpj.org/> →メニュー → HPI の情報公開 → ①団体会員名簿一覧表
からご確認いただけます。

②当協会の個人会員としてご登録いただいている方

③ご所属先が、本セミナーの協賛団体の会員として登録されている方

※上記 ◆開催要領◆の『協賛団体』をご参照ください。

非会員：36,000円 ※1 社で3名以上同時にお申込の場合、お一人様 30,860円

■お申込み要領■

- ① 参加申込書に必要事項をご記入の上、E-mail 又は FAX、または当協会 HP より
<http://www.hpj.org/event/> 平成 30 年 1 月 10 日 (水) までにお申込みください。
- ② 参加申込書を受領後、1 週間以内に請求書をお送りします。
参加費は開催日前日までに、請求書の郵便口座、又は銀行口座へお振り込みください。
参加費のお振り込み後の、返却には応じられませんので、ご了承ください。
- ③ 受講券を、開催日の 2 週間前にメールでお送りします。
- ④ テキストは、セミナー当日、受付にてお渡しします。
- ⑤ ご不明な点は、セミナー事務局 (一社)日本高圧力技術協会 田中夕香子までお問い合わせください。
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-7-1 三恵日本橋ビル 7 階

TEL/FAX 03-3516-2270 / 2271 E-mail tanaka@hpj.org URL <http://www.hpj.org/>

参加申込書は次のページです!!

(一社)日本高圧力技術協会 技術セミナー参加申込書

各項目をご記入の上、E-mail 又は FAX にてお申し込みをお願い致します。

E-mail : tanaka@hpij.org、FAX:03-3516-2271

セミナー名	圧力容器に関する国内規格と ASME 規格の動向と解説 (1/16)	
フリガナ 参加者名	①	E-mail アドレス
	②	E-mail アドレス
	③	E-mail アドレス
	④	E-mail アドレス
参加者種別	(該当する <input type="checkbox"/> をクリックしてチェックを入れて下さい) <input type="checkbox"/> 個人会員 <input type="checkbox"/> 団体会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 協賛団体会員(協賛団体名を記入してください： _____)	
勤務先 所属先名		
勤務先住所	〒 _____	
TEL/FAX		
参加費種別	1名でのお申し込み (該当する <input type="checkbox"/> をクリックしてチェックを入れて下さい) <input type="checkbox"/> 会員価格 30,860円 <input type="checkbox"/> 非会員価格 36,000円 3名以上でお申し込み (該当する <input type="checkbox"/> をクリックしてチェックを入れてください) <input type="checkbox"/> 会員価格 25,710円 <input type="checkbox"/> 非会員価格 30,860円 ※会員価格は、当協会の団体会員、個人会員、及び本セミナーの協賛団体の会員に適用されます。 ※全て消費税込の金額です。	
振込み予定日	月 _____ 日 _____	
備考		

当協会ではお客様の個人情報の取扱いについては、プライバシーポリシーを定め適切に管理を行います。詳細は、当協会の HP <http://www.hpij.org/> →メニュー→「個人情報保護方針」をご覧ください。